

平成18年度当初予算 施策別概要

640 人材育成の推進

(主担当部：総務部)

64001 能力開発型の人材育成 (総務部)
 64002 自律(立)型人材の育成 (総務部)
 64003 職員の福利厚生の実施 (総務部)

< 施策の目的 >

(対象) 県職員が
 (意図) 人材育成に関して満足している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
人材育成に関する職員満足度 (%)	目標値	60	62	63	65
	実績(見込み)値	58.0	59.3	59.8	-

「三重県職員満足度アンケート」(問20全項目)(県の組織やしくみが職務遂行する上で、どのような状態なのか、職員アンケートで測定した数値です。)

< 平成18年度に残っている課題 >

地方分権がより一層進展していく中で、厳しい行財政運営を効果的・効率的に展開していくためには、これまでの取組状況の検証を基に、職員の能力開発、人材育成が必要不可欠です。

国で検討されている「公務員制度改革」の動向も視野にいれたうえで、新しい人材育成ビジョンに基づき、より一層の職員の育成、多様な人材確保、能力開発に重点をおいた取組を推進する必要があります。

人材育成・能力開発のしくみを核として、キャリアデザイン制度や公募制の充実、昇任資格制度の創設など他のシステムと有機的に連携し、より自己実現が図れる環境を整えていく必要があります。

職員ひとりひとりが「こころと体」の健康を保持増進できるような取組が必要です。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

これまでの取組状況の検証等を踏まえたうえで、「管理型」から「目的達成型」に組織運営を転換していくための職員の育成と能力開発の取組を実施し、職員の強み弱みを把握したうえで、それを基に人材育成・能力開発を行うしくみを整備します。

職員の育成・能力開発に向けた取組を推進するなかで、より公正で適性を生かした人事を行うことにより、「県民が主役」の行政を推進していきます。

17年度中に見直した「人材育成ビジョン」及び「職員研修推進計画」に基づき、組織のニーズと職員のニーズが合致するよう、人事システムとの関連や各部局との連携を密にして、自律（立）型人材育成を進めていきます。

各種健康管理事業を実施し、職員に対する速やかな健康指導や就労上の措置を行い、職員自らが積極的にこころと体の健康づくりに取り組める環境づくりを行います。

<主な事業>

人事管理事務費【基本事業名：64001 能力開発型の人材育成】

当初予算額： 364,625千円 321,570千円

事業概要：「新しい人事システムをめざして」（人事システム改革）で提案した、必要な職員の育成、勤務評価制度の充実、職員サポートの充実等の事項について、順次具体的な取組を進めます。

キャリアステージ研修費【基本事業名：64002 自律（立）型人材の育成】

当初予算額： 19,286千円 25,878千円

（他カテゴリーからの組み替え分を含む）

事業概要：職員が自ら目指すキャリアを描くことを目的としたキャリアデザイン研修や新規採用職員研修を実施し、職員自身が職務や職責に応じた役割を認識し、自律（立）的に能力開発を行えるようにする。

職員健康管理運営費【基本事業名：64003 職員の福利厚生の実施】

当初予算額： 83,938千円 78,699千円

事業概要：各種の健康管理事業、健康診断事業、メンタルヘルスケアシステムに基づく総合的なメンタルヘルス対策事業等を実施します。